

すべては子どもたちの笑顔のために



響 No. 7

東信教育事務所だより

〒384-0006 小諸市与良町 6-5-5

TEL. 0267-31-0250 (代)

FAX. 0267-31-0140

<http://www.pref.nagano.lg.jp/toshinkyō/index.html>

平成 29 年(2017 年)12 月 6 日(水) 発行

特集「佐久地区 教育課程研究協議会に学ぶ」

平成 29 年度佐久地区教育課程研究協議会が、10 月 5 日(木)に小学校、10 月 12 日(木)に中学校で開催されました。各会場での授業を通して、子どもの具体の姿から学び合うことができました。今号では、各会場での授業の様子をお伝えします。

道徳 (野沢小学校 3 年)

主題名「みんなの場所だから」C-(11)

資料名「あめだま」(出典:光村図書)

<3 観点の質的な向上の視点>

子どもたちが自分事として考えていくことができるように、妹のあめだまを一生懸命拾った女の子の行為をもとに、自分たちの生活場を振り返らせる中心発問を設定しました。

<終末の子どもの姿>

今まで「だれかが拾ってくれるからいいや」と考えていたKさんは、自らを見つめ直し、自分ができることは何かについて考え始めていました。

ねらい

ねらい

めりはり

見とどけ

は、先生方にお伝えしたい「3 観点の質的な向上の視点」にかかわる取組(工夫)です。

国語 (軽井沢東部小学校 3 年)

スーパーせつめい名人になろう

「すがたをかえる大豆」説明文

<3 観点の質的な向上の視点>

段落ごとに分けた本文や食品の図が貼られたホワイトボードを各グループに用意し、児童が視覚的に追究できる支援がありました。

<終末の子どもの姿>

Aさんは、「なか」に書かれている「くふう」を表すキーワードを友と考え合って見つけ、文末表現に着目していきました。「はじめ」の段落にある「かくれた問い」を見つけ出すことができ、友と説明文を読み解くことができた達成感が得られた姿がありました。

めりはり

国語 (芦原中学校 3 年)

俳句で思いを伝えよう

<3 観点の質的な向上の視点>

自作の俳句を推敲し、思いがより伝わる俳句に仕上げていく授業でした。全体で推敲の観点を共有し、生徒が自ら考えることができるようにする先生の支援がありました。

<終末の子どもの姿>

自分が見とれてしまった秋の稲穂の風景を、「そよそよ」と表現していたAさんは、グループの友からアドバイスをもらい「さきなびく」と書き変えました。ゆらめく稲穂に感動したことを的確に表現できたと感じたAさんの姿がありました。

ねらい

社会（御代田南小学校 6年）
江戸幕府と政治の安定

めりはり

＜3 観点の質的な向上の視点＞

もし自分が家光に続く将軍だったら、「大名の統制」「百姓の支配」「鎖国」の3つの政策それぞれにどのくらい力を入れるか、図に表して、友との考えの違いを意見交換し合いました。

＜終末の子どもの姿＞

「大名の統制、百姓の支配、鎖国によって、武士、農民、キリスト教徒による反乱が起きない世の中になった。だから江戸幕府の政治は安定した。」と考える子どもの姿がありました。

社会（望月中学校 3年）
現代の民主政治

めりはり

＜3 観点の質的な向上の視点＞

投票率向上＝民意の反映のために、日本も棄権に対して罰金制度を取り入れるべきかを、グループで話し合い、選挙の意義とは何か、民主主義とは何かを考え合っていました。

＜終末の子どもの姿＞

「選挙権を行使することが民主主義では重要なことである。適当に投票するのではなく、政治に関心を持ち、老若男女みんなで政治をつくっていくことがこれからの日本では必要だ。」と考える子どもの姿がありました。

算数（小諸市立東小学校 5年）

ねらい

異分分数の加減計算

＜3 観点の質的な向上の視点＞

「授業構想シート」を利用し、子どもの実態・素地を考慮しながら、「ねらいを達成した子どもの姿」を明らかにし、学習課題を吟味して授業を構想しました。1/2 + 1/3の計算の仕方を、液量図や分数の数直線を使って試行錯誤して行きました。

＜終末の子どもの姿＞

等しい分数を探すと分母を6にそろえることができることに気づき、1/6の5つ分になることを説明する姿がありました。

数学（中込中学校 2年）

めりはり

一次関数の利用

＜3 観点の質的な向上の視点＞

具体的な事象から取り出した二つの数量の関係を理想化したり単純化したりしてとらえ、一次関数としてみなして、結果を予測し、説明する授業を構想しました。

＜終末の子どもの姿＞

北極海氷面積の推移を表した表や、点をプロットしたグラフから、全体として減っている変化の様子を一次関数であるとみなすことで、北極の氷がなくなるのかどうかを予想できることに気づく姿がありました。

理科（佐久市立東小学校 3年）

ねらい

電気のはたらき

＜3 観点の質的な向上の視点＞

児童に実験の方法や得られる結果について見通しをもたせることで、自作のテスターを使って、たくさんの物について電気が通るかどうか主体的に調べる活動となりました。

＜終末の子どもの姿＞

調べた物について短冊カードに書き、それを掲示し、全体で仲間分けを確認することで、物には電気を通す物と通さない物があることを見いだす姿が見られました。

理科（御代田中学校 2年）

めりはり

気圧やものあたたまり方と風

＜3 観点の質的な向上の視点＞

モデル実験を行って、線香の煙の動きを確認し、海陸風が生じるしくみを説明する中で、繰り返し事象に働きかけながら主体的に探究する活動となりました。

＜終末の子どもの姿＞

最初は、予想を書くことが難しかった生徒も、友の説明を聞くことで、終末では、海陸風が生じるしくみについて温度変化と気流の変化を結び付けて考える姿が見られました。

め_{りはり}

体育（軽井沢西部小学校 2年）

スイミー なかまをふやせ（フラグフットボール）
～ゲーム（鬼遊び）～

＜3 観点の質的な向上の視点＞

腰に付けたフラッグを取られずに相手の間を通り抜けて得点するために、チームで試したい作戦を攻撃前に確認する活動と、実際に動いて試す活動を交互に繰り返す、学習活動の工夫がありました。

＜終末の子どもの姿＞

だれがボールを持つか、攻撃の3人がどのように動くかをチーム全員で考え、個々が自分の役割を意識し、考えて運動に取り組む姿が見られました。

ね_{らい}

保健体育（小諸東中学校 2年）

バレーボール（球技：ネット型）

＜3 観点の質的な向上の視点＞

ポジションに応じたプレイ上の役割を明確にしているチームの気づきを取り上げて全体で課題設定した後、作戦ボードを使い、5人の位置と役割に着目して、チームごとに作戦を考える場が位置付けられていました。

＜終末の子どもの姿＞

後衛3人のうち、真ん中の人をコート中央に位置するポジションに変更し、後方と前方、両方のボールに対応できる作戦を考えていました。

ね_{らい}

図画工作科（美南ガ丘小学校 2年）

「とろとろねんどでたのしもう！」

＜3 観点の質的な向上の視点＞

導入の場面では、先生が子どもたちの感想を温かく受け止め、その感想に対して、「どんなところから？」などの問い返しをすることにより、子どもたちの言葉から鑑賞の観点が示されていました。

＜終末の子どもの姿＞

友だちから寄せられた感想から、多様な見方や感じ方に触れ、さらに表現を深めたいと感じたり、友だちの表現方法に興味をもったりする姿がありました。

め_{りはり}

美術科（臼田中学校 3年）

「コマ撮り！特撮！○△□&I」

＜3 観点の質的な向上の視点＞

共同制作による特撮で、作品にどんな意外性を盛り込めそうか、試行錯誤しながら探る活動でした。撮影をしながら、各自が担う役割の視点から、意見交換し合う姿が見られました。

＜終末の子どもの姿＞

グループごとに活動を振り返る場面では、試行錯誤をした学習をもとに、表現主題についてのアイデアが交わされていました。次時につながる話し合いとなりました。

ね_{らい}

家庭科（中込小学校 5年）

みそしるをつくろう

＜3 観点の質的な向上の視点＞

「実の大きさや厚さをそろえて切れば、もっとおいしいみそ汁が作れるのではないか」という子どもの問題意識から学習課題が設定されました。

＜終末の子どもの姿＞

子どもは、みそ汁の実の大きさや厚さをそろえて切ることで、実に均等に火がとおったおいしいみそ汁を作ることができることを実感しました。

め_{りはり}

技術・家庭科（軽井沢中学校 2年）

階段灯の回路を作ろう

＜3 観点の質的な向上の視点＞

ねらいを明らかにするために、階段灯のモデルを全体で共有して、目に見えない電気の流れをイメージしました。その後、グループ毎に学び合い、かわり合いを大切にしながら、モデルの回路になるよう実際に配線をして確かめるなど、具体物を通して追究する姿がありました。

＜終末の子どもの姿＞

ICTを活用して、グループの考えた回路を見せながら発表し学習の過程を振り返る姿がありました。

ねらい

外国語活動（御代田北小学校 5年）

Hi, friends! Lesson6 What do you want?

＜3 観点の質的な向上の視点＞

Today's point として、fluency（伝える意欲）、Eye contact（お客への意識）、Try & Enjoy（主体的な活動）を児童と共有し、Shopping game を行いました。途中で活動を振り返る場を設けました。

＜終末の子どもの姿＞

HRT、ALT が対話をしている児童のよさや改善点を伝え、後半の活動を行ったことで、児童は Today's point をより意識して対話し、コミュニケーションを楽しむ姿がありました。

めりはり

外国語（小海中学校 2年）

NEW HORIZON2 Unit5 Universal Design

＜3 観点の質的な向上の視点＞

繰り返し読み返し理解を深めるという読む目的を明確にし、段階を踏んだ読み取りを行ったり、グループワークで理解を深めるための話し合いを行ったりしました。

＜終末の子どもの姿＞

書かれた内容について自分の考えをもつという目標をもち、主体的に何度も読み返したり、話し合いでは友の考えを参考にしたりしながら、叙述から自分の考えを深める姿がありました。

ねらい

音楽（川上第一小学校 4年）

拍の流れや音の重なりを感じとって
表現を工夫しよう

＜3 観点の質的な向上の視点＞

教師が、ねらいの場面で2種類の「チキチキバンバン」を聴き比べさせたことから、強弱表現に関心をもち、生き生きと自分たちの演奏を追究していきました。

＜終末の子どもの姿＞

「強弱を工夫すると楽しさやワクワクした感じを表すことができる」と曲の中で強弱表現を工夫できたよさを感じ取っていました。

めりはり

音楽（野沢中学校 3年）

日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう

＜3 観点の質的な向上の視点＞

グループで「勸進帳」を鑑賞し、言葉の抑揚や楽器の音色等を聴き取りながら、図形楽譜をかきました。何度も繰り返し聴き、歌舞伎の面白さを感じながら課題に集中して取り組むことができました。

＜終末の子どもの姿＞

楽譜や聴き取った声の音色、節回し、楽器の音等を基に、想像した場面を全体で共有しながらその場面の映像に見入っていました。

めりはり

特別支援

（佐久城山小学校 4年：通常学級）

分数

＜3 観点の質的な向上の視点＞

ワークシートに記載されたマスと、テープ図の幅が一致した教材を準備し、自分なりの思考をしやすい環境が整うことにより、グループ内での意見交換時に、自分の意見を丁寧に説明し、それに聞き入る子どもたちの姿が見られました。

＜終末の子どもの姿＞

集中力が途切れがちなAさんも、友だちの発表に耳を傾け始め、その後は終了のあいさつまで真剣に課題に向き合う様子の変化が見られました。



生活科（望月小学校 2年）

ねらい

すすめ！ぼく・わたしのいかだ

＜3 観点の質的な向上の視点＞

前時の様子や気づきを想起させる写真や発問などにより、前時にいかだを浮かべた時の働き返しによって得た「今度は、沈まないいかだを材料を変えて作りたい」などのめあてを明確にもち、いかだ作りに夢中になっていきました。

＜終末の子どもの姿＞

思い思いに取り組み、自分たちの作りたいいかだで浮かすことができるか、プールに浮かべる時を楽しみにしている姿がありました。

総合的な学習の時間（南牧南小学校5年）

めりはり

一人でも多くの人に伝えたい わたしの花豆

＜3 観点の質的な向上の視点＞

花豆の宣伝内容がこれでよいか参観者の先生方にインタビューをして得た生の情報を、クラゲチャートを活用しながら整理・分析することを通して、「調理法が分かりづらい」というそれまでは見えなかった新たな課題に気づいていきました。

＜終末の子どもの姿＞

新たに見えてきた課題に対して「実際に調理をして自分たちで決めなきゃ」と、解決への見通しを話し合う姿がありました。

特別活動（浅間中学校 1年）

めりはり

わたしの健康ライフ宣言

＜3 観点の質的な向上の視点＞

「高齢者にとっての健康とは」について資料をもとに考え合うことで、「心の健康」という新しい視点に気づくことができました。その視点を踏まえた友との話し合いの場では、互いの考えを聞き合い意見を述べ合うことを通して、健康についての考えを深めたり広げたりすることができました。

＜終末の子どもの姿＞

「心の健康」にも目を向けながらグループで話し合ったことをもとに、より健康に過ごすために自分ができることを意思決定する姿がありました。

健康教育（立科中学校 3年）

めりはり

自分も相手も大切に

コミュニケーションとは

＜3 観点の質的な向上の視点＞

親友に伝える言葉を考える場面から、それぞれの立場になって言葉を伝え、受けとめるロールプレイにより、伝え方の工夫や改善点をさぐるペア活動となりました。

＜終末の子どもの姿＞

よりよい人間関係を築くためには、自分も相手も大切にする伝え方が必要であることを実感する子どもの姿がありました。

他校の授業から学びましょう！

～3学期の他校からの授業参観、教科会等への参加を可とする学校一覧～

学校名	教科・領域名	授業日・研修日	授業研究会等の形態
軽井沢中部小学校	道徳	1月12日（金）	職員研修
御代田中学校	道徳	1月18日（木）	全校研究
神川小学校	体育・保健体育	1月19日（金）	全校研究
田口小学校	生活	1月19日（金）	全校研究
臼田中学校	理科	2月1日（木）	グループ研究
	体育・保健体育	2月1日（木）	グループ研究
	人権教育	2月1日（木）	グループ研究

詳細については、教頭間で連絡をとっていただき、参加されますようお願い致します。

学社融合フォーラムを開催しました！！

去る10月26日（木）佐久市佐久平交流センターにて、227名の皆さんが子どもたち社会力の向上に向けて、熱心に学び合いました。ここでは参加された方々の声をお伝えします。

【シンポジウム】

私たちの子どもたち 子どもたちの未来



長野大学准教授
早坂 淳 さん
上田市教委主事
伴 美佐子 さん

“子どもが真ん中”ということについて、考えさせられました。主体性のある子どもが育つように、自分の役割を自覚し、頭を柔らかくして、年を取ってもいろんなことを学んでいきたいと思いました。（民生児童委員）

「地域学校協働活動」について、社会教育が中心になって、地域も教育の責任者として子どもに係わる活動を進めていくことが大切であるとお話でした。

【第3分科会】

地域の教育機関と連携して、未就学児の体力向上を目指した取組

「遊びの学びは自得です。教わるものではありません」この言葉、納得です。使わせてもらいます。地域の前に保護者を巻き込まなくては！と考えています。ありがとうございました。（保育園長）



北御牧保育園
保育士
清水 智博 さん

東御市立全保育園での毎朝15分体を動かして遊ぶ運動遊びの取組、レッツ15（いちご）タイム。現在では「運動あそび専門保育士部会」が主体となり進めています。

【第1分科会】

信州型CS（コミュニティスクール）の取組



野沢小学校 CS
コーディネーター
元吉 純子 さん

地域の皆様が学校と共にCSを成功させていこう！持続させていこう！という、とても熱い思いを感じました。できることから、持続可能な形を見つけていくことが大切であると感じました。（教務担当者）

毎月の運営委員会の活動を写真付きで報告したり、学校通信で学校支援の様子を伝えたりして、野沢小CSを地域の皆さんに知らせる活動を大切にされています。

【第4分科会】

学校・家庭・地域で子どもたちをネットトラブルから守る取組

地域での実践、特に学生参加の集会を見せていただきました。指導される方の熱意が地域を動かしていくのだと思います。それぞれの立場で実際の声を聞くことが大切だと思いました。（公民館主事）



上田市城南公民館
社会教育指導員
矢澤智都枝さん

地域の小中学生・高校生も参加して、地域の様々な立場の人がネットの問題について話し合う「わいわい会議」。学校・家庭・地域の連携が課題解決のカギになるとのお話でした。

【第2分科会】

地域ぐるみの子育ての事例



小諸東中学校教頭
中澤 隆一 さん

PTAで進めるスクールズマーケットの取組は大変素晴らしいと思います。子どもたちが普段学校ではできないいろいろな経験や、地域の人と触れあい等、その後の人生において貴重なことだと思います。（PTA副会長）

市内の小中学校と高校との触れ合い等を目的にPTAのOBも協力して行われる「こもるスクールズマーケット」の取組を、具体的な資料から分かりやすくお話しくさしました。

【第5分科会】

信州型CS実践講座

地域を巻き込んだCSにしていること、地域にCSとはどんなものか広報すること、この2つが本校の一番の課題です。本日は大変多くの気づきを得ることができました。ありがとうございました。（校長）



下諏訪町教委
前教育長
小沢 貞義 さん

町が抱えている課題を広く町民と共有し、解決に向けた方策を明らかにするための「未来の下諏訪教育を語る会」。下諏訪版信州型CSは地域課題から立ち上がったものです。